

渋沢栄一翁と 論語の里

渋沢栄一は7歳頃から、従兄の尾高惇忠に論語をはじめとする学問を習いました。生涯を通じて論語に親しんだ栄一は、「道徳経済合一説」を唱え「近代日本経済の父」と呼ばれるようになりました。栄一が「論語」を習いに通った「中の家」から尾高惇忠生家までの周辺には、栄一に関連する史跡が多く残されていることから、一帯を「論語の里」と呼んでいます。



「近代日本経済の父」
渋沢栄一 (1840~1931)

血洗島村(現在の深谷市血洗島)に生まれ、尾高惇忠に学問を学びました。20代で従兄弟らと倒幕を計画し、中止された後は一橋(徳川)慶喜に仕え、のちに慶喜の名代昭武に同行し渡欧しました。明治政府で租税正となり、官営富岡製糸場の設立にも関わりました。33歳で、大蔵省を辞した後、実業界で活躍。幼少期に学んだ「論語」の精神を基に約500社の企業の設立・育成に関わりました。



「富岡製糸場初代場長」
尾高惇忠 (1830~1901)

下手計村(現在の深谷市下手計)に生まれ、17歳で自宅に塾を開き、近隣の子どもたちに教えました。水戸学の影響を受け、尊皇攘夷思想を抱き、討幕を計画しますが、栄一が徳川慶喜に仕えたのをきっかけに考えを変えていきました。明治維新後は民部省に招かれ、官営富岡製糸場の設立に計画当初から関わり、建築資材の調達や工女の募集に尽力しました。設立後は、初代場長を務めました。



「製糸場建設資材調達のまとめ役」
荏塚直次郎 (1823~1898)

深谷市明戸出身で、官営富岡製糸場を建設するにあたり、資材調達のまとめ役をつとめました。地元の瓦職人たちを束ね、当時日本で製造方法が普及していなかった煉瓦を試行錯誤の末に焼き上げたほか、石材や瓦、セメントなど多くの資材調達を請け負いました。製糸場の完成後には、事業の成功を感謝する意を含め、製糸場の絵馬を永明稲荷神社(深谷市田谷)等に奉納しています。

※「翁(おう)」は男性の老人に対する敬称。歴史上の人物であることから解説文では敬称を省略いたします。

- P 駐車場
- WC トイレ
- 🗣️ 解説あり

7 諏訪神社・渋沢青淵翁喜寿碑



旧血洗島村の鎮守。拝殿は渋沢栄一の寄進によるもの。境内にある渋沢青淵翁喜寿碑は、栄一の喜寿を祝い、氏子中の拠金により建てられた。

所在: 深谷市血洗島117-6

10 誠之堂・清風亭



誠之堂は、渋沢栄一の喜寿を祝って、栄一が頭取を務めた第一銀行の行員たちから贈られた煉瓦建築。清風亭は、栄一に次いで頭取となった佐々木勇之助の古希を祝い、同様に贈られた建物。平成11年世田谷より移築された。

休館日: 年末年始
開館時間: 9:00~17:00 (入場は16:30まで)
料金: 無料
所在: 深谷市起会110-1 (大寄公民館敷地内)
※カーナビ検索は深谷市起会84-1

◎施設の観覧についての問い合わせ
深谷市教育委員会 文化振興課
電話: 048-577-4501 (平日8:30~17:15)

11 日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設



明治21年に操業を開始。設立には渋沢栄一が関わっている。当地で製造された煉瓦は、東京駅や旧東宮御所(迎賓館赤坂離宮)などに使用されており、日本の近代化に大きく寄与した。工場の一部として、「ホフマン輪窯6号窯」「旧事務所」「旧変電室」「備前渠鉄橋」が残っている。

施設見学の最新情報は深谷市ホームページにてご確認ください。
◎施設の観覧についての問い合わせ
深谷市教育委員会 文化振興課
電話: 048-577-4501 (平日8:30~17:15)



見学のポイント

4 青淵公園・青淵由来の碑



渋沢栄一の雅号を冠した公園で、約98,000㎡の敷地にロング滑り台やアスレチック遊具が設置されている。公園を流れる清水川にかかる橋には、郷土の偉人たちの名がつけられている。

皇太子明仁親王の生誕奉祝記念事業として、八基村青年団により建てられた。清浦奎吾揮毫、栄一の甥にあたる、渋沢治太郎揮書。

所在: 深谷市下手計1241

5 旧渋沢邸「中の家」



渋沢栄一の生地。明治28年に妹夫婦が建てた主屋で、栄一が帰郷の際に滞在した上座敷やアンドロイドシアターを見ることができ。

休館日: 年末年始
開館時間: 9:00~17:00 (入場は16:30まで)
料金: 無料
所在: 深谷市血洗島247-1

6 薬師堂



薬師堂のあるこの辺りは、天狗党浪士2名が葬られた地で、吊魂碑が建つ。渋沢栄一による撰文・書で大正7年9月建立。碑の隣にある石地藏は安政7年、東の家3代目の渋沢宗助らにより建立。

所在: 深谷市血洗島229-2

8 田島弥平旧宅



幕末から明治にかけて、優良な蚕種を生産する養蚕技法「清涼育」を体系的に完成させた田島弥平の旧宅。文久3年に建築された主屋が現存するほか、当時の蚕室建物跡、桑場、蚕種を保管した種蔵などの遺構が残る。

休館日: 年末年始
見学時間: 9:00~16:00
料金: 無料
所在: 群馬県伊勢崎市境島村2243

駐車場は「島村蚕のふるさと公園」または、伊勢崎市境島村1968-40 電話: 0270-61-5924

◎田島弥平旧宅案内所
休館日: 年末年始
開館時間: 9:00~16:00
料金: 無料
所在: 伊勢崎市境島村1968-40
電話: 0270-61-5924

◎資料室の予約について
10名以上の団体で来館の場合は要予約
◎講義室「渋沢栄一アンドロイド」の予約について
1回の講義につき、最大40名まで予約可能

1 尾高惇忠生家



◎10名以上の団体で来場の場合は要予約

富岡製糸場の初代場長をつとめた尾高惇忠の生家。惇忠は、渋沢栄一の従兄であり、学問の師としても大きな影響を与えた。

休館日: 年末年始
開館時間: 9:00~17:00
料金: 無料
所在: 深谷市下手計236
電話: 048-587-1100
渋沢栄一記念館

2 鹿島神社・藍香尾高翁頌徳碑



旧下手計村の鎮守であり、境内には渋沢栄一らによって建てられた尾高惇忠の人となりや業績を伝える藍香尾高翁頌徳碑(市指定有形文化財)がたつむ。

所在: 深谷市下手計1145

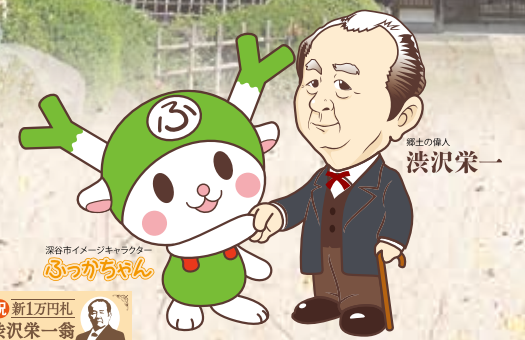
3 渋沢栄一記念館



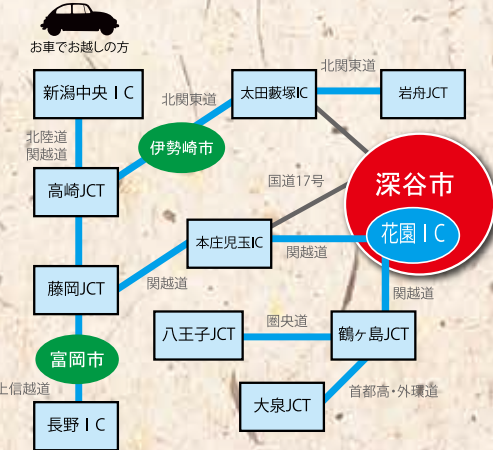
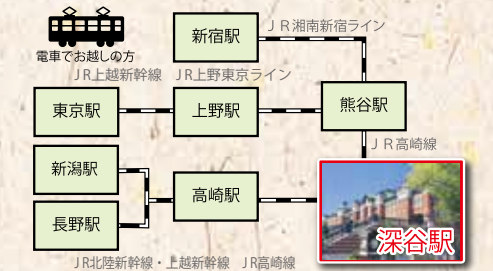
渋沢栄一ゆかりの写真や遺墨など、多くの資料が展示されている。

休館日: 年末年始
開館時間: 9:00~17:00
料金: 無料
所在: 深谷市下手計1204
電話: 048-587-1100

渋沢栄一翁と 論語の里 散策マップ



深谷市へのアクセス



渋沢栄一記念館
〒366-0002 埼玉県深谷市下手計 1204
TEL.048-587-1100



- ①尾高惇忠生家
深谷市下手計236
- ②鹿島神社
深谷市下手計1145
- ③洪沢栄一記念館
深谷市下手計1204
- ④青淵公園
深谷市下手計1241
- ⑤旧洪沢邸「中の家」
深谷市血洗島247-1
- ⑥薬師堂
深谷市血洗島229-2
- ⑦諏訪神社
深谷市血洗島117-6
- ⑧田島弥平旧宅
群馬県伊勢崎市境島村2243
- ⑨道の駅「おかべ」
深谷市岡688-1
- ⑩誠之堂・清風亭
深谷市起会110-1
※カーナビ検索は「深谷市起会84-1」
- ⑪日本煉瓦製造株式会社
旧煉瓦製造施設
深谷市上敷免28-10・11

施設までの距離

コース	距離	徒歩時間
①尾高惇忠生家～③洪沢栄一記念館	0.8km	10分
③洪沢栄一記念館～⑤中の家	0.9km	11分
③洪沢栄一記念館～⑨道の駅おかべ	3.7km	47分
⑤中の家～岡部駅	4.5km	60分
⑤中の家～⑧田島弥平旧宅	2.8km	35分
⑩誠之堂・清風亭～①尾高惇忠生家	1.1km	15分
⑪日本煉瓦～⑩誠之堂・清風亭	2.6km	35分
深谷駅～⑪日本煉瓦	4.2km	60分

青淵まつり

洪沢栄一の命日(11月11日)を偲び、11月中に洪沢栄一記念館前で開催される。

血洗島獅子舞

諏訪神社の祭礼(秋季大祭)に奉納される。元亀2年(1571)にはじまると伝わり、雄獅子(おじし)・雌獅子(めじし)・法眼(ほうがん)の3頭が、笛や太鼓のお囃子のもとで舞う。洪沢栄一も幼少より雄獅子を舞っており、帰郷の際には参観していた。

市指定無形民俗文化財

国道17号バイパス沿い
道の駅「おかべ」へ

